

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 南山す、本上、西
2. 山城/ルート 南アルプス・甲斐駒ヶ岳～鋸岳縦走
3. 交通手段 車
4. 行動記 <入山日 2017年10月7日><下山日 2017年10月8日>

1日目		山行	4時間39分	休憩	59分	合計	5時間38分					
S	北沢峠 09:21	09:27	長衛小屋(旧北沢駒仙小屋)	09:56	仙水小屋	10:01	10:29	仙水峠	10:36			
	11:47	駒津峰	12:15	12:40	六方石	12:44	13:39	甲斐駒ヶ岳	13:54	14:59	六合石室	泊
2日目		山行	7時間29分	休憩	1時間48分	合計	9時間17分					
泊	六合石室	05:38	06:14	三ツ頭	06:20	07:16	中ノ川乗越	07:26	07:45	第2高点	08:17	
	08:43	鹿窓	09:07	09:34	鋸岳	09:46	10:02	角兵衛沢ノ頭	10:07	10:57	岩小屋	10:59
	12:37	角兵衛沢渡渉点	12:53	14:40	戸台登山口	14:41	14:55	ゴール地点	G			

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定通り行動できた

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

- ・Mが持って行ったライター4個全てが使用不能になる。防水はしていたが着火できなかった。Nのライターで事無きを得たが、ライターのトラブルはこれまでも時々あったので今後は高所向きの最強ライターを入手して持参することにする。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

- ・帰宅後、山で使用するライターについて研究をおこなった。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

○仮眠場所

仙流荘バスターミナルの駐車場に登山者用休憩所がある。雨天時の仮眠には最適である。

○戸台大橋からバスで北沢峠

駐車場

戸台大橋近くに5～6台止めれるスペースがある。利用しなかったがトイレもあった。

北沢峠行きバス

バスの始発地が仙流荘B Tなので途中乗車となる。戸台大橋からの乗車はゲートの番人に伝えておかないと満席で乗車できない可能性がある。0615の1便は6台出発したようだ、我々は0815の2便で3台目に乗車

○北沢峠から甲斐駒ヶ岳

駒津峰までは二つのルートがあるが我々は仙水峠経由のルートを選択した。峠までは傾斜の緩い沢沿いなので楽と思う。峠からは標高差500mの急登になるが。

六方石からは直上ルートと巻道ルートがあり迷わず直上を選択、大きな岩を乗り越えるようなところが随所にありなかなかしんどいコースである。

○甲斐駒ヶ岳から六合石室

一か所長い鎖の下りがあるがスタンスをしっかり決めて降りると特に問題は無い。

石室着は我々が先頭でその後続々と到着、総勢12人になった。テントを持参していなかったので小屋泊はありがたい。水は少し下のテント場から5分程下ったところで水量は豊富。

○第二高点、第一高点（鋸岳）

中ノ川乗越からガリーを登ることになるが特に問題は無い

第二高点から第一高点までがこのルートのコアになる。西方向に下っている尾根をどんどん下り大ギャップへと続く踏み跡を下って行くとルンゼに下りる。ルンゼはザラザラと石が崩れるので慎重に少し下ると右手にバンドらしきところに踏み跡があるのでそこを登って岩場を左にトラバースすると頭上に鹿窓が望める。草付きを登り詰め長い鎖が掛かった岩場を登り詰めると有名な「鹿窓」です。鎖は左に振られるのでなるべく右側が容易に登れる。

小ギャップへの下降は鎖を使わずに右手の急な草付きを下る。登り返しの急な岩場は鎖を補助的に使って難無く通過。そこからほどなくして第一高点（鋸岳の山頂）

○角兵衛沢

浮石だらけの下りは歩を進める度に落石を起こすので間隔をあけて下る。大岩基部は憩いの水場です。戸台川の出合いは靴を脱いで渡渉がありました。そこから退屈な川沿いの歩きを我慢して駐車場に戻ってきました。



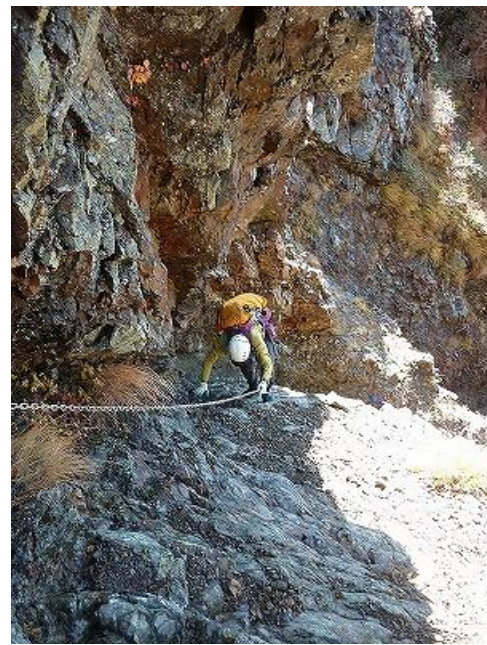
第一高点から望む第二高点



北アルプス連峰もよく見えていました



ここからがこのコースの核心部になります。その前に中休止



鹿窓直下の鎖場と鹿窓



ここまでくると後は下るだけ



後方には甲斐駒、北岳、間ノ岳



最後は渡渉のおまけ付き

報告者

南山房啓 2017/10/14